東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.7.16　東北地整　No. 26
災害現地対策本部　活動通信

平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。

【7月15日20時　災害現地対策本部情報】

1. 災害現地対策本部が引っ越し

これまで3F企画部、建設部のオープンスペースに設置されていた災害現地対策本部が、内閣府「現地連絡対策室」のあった2Fの203会議室に引っ越しました。少し狭くなりましたが、引き続きセキュリティ、緊急時体制は万全です。

2. 本日の土研のヘリ現地調査結果

7月12日の出水後、初めてのヘリ現地調査が行われました。土木研究所内田主研の所見です。

◆湯ノ倉地区

総じて7月12日の越流の影響は小さく、7月10日の状態に近いものと考えられる。今後、急激な出水が無い限り、土砂の安定性が急激に失われる恐れは少ないと考えられる。

◆湯浜地区

7月12日の越流により、河道閉塞を形成している土砂は侵食されたものの、河道閉塞を形成している土砂及び崩壊地の安定性にはほとんど影響を及ぼしていないものと考えられる。

▼2F個室に引っ越しした現地対策本部



3. 工事実施状況

◆温湯地区
・工事用仮設道路被災箇所調査復旧

◆湯ノ倉温泉地区
・ポンプ運転管理16台継続
・工事用道路造成継続

◆湯浜地区
・進入路現地調査

◆沼倉裏沢
・砂防堰堤袖部保護

▼湯浜地区





▼湯ノ倉温泉地区



